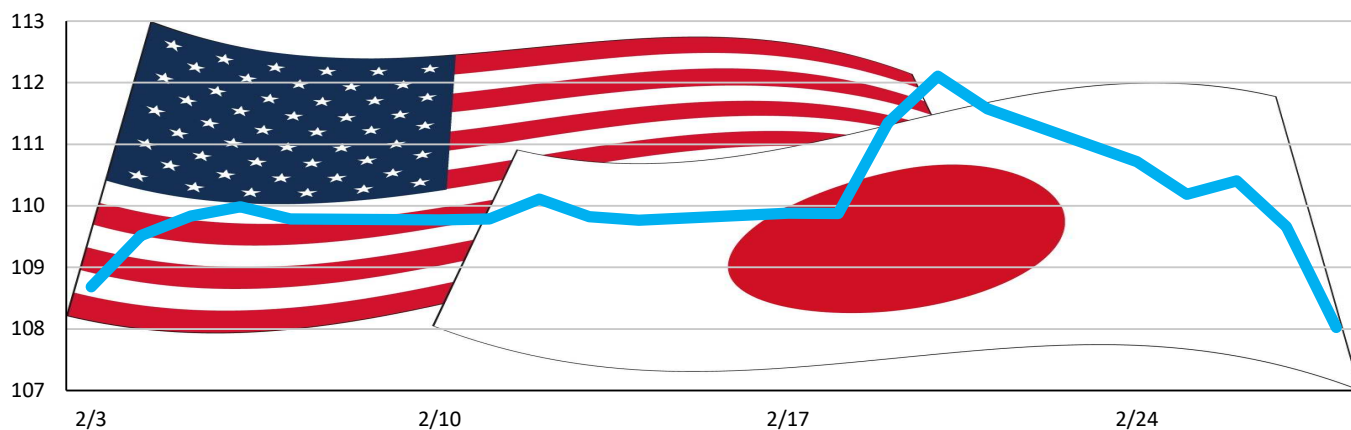


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 2月のドル円相場は112円前半～107円半ばで推移。月初は新型コロナウイルス感染拡大を懸念した動きが見られたが、WHOがパンデミックではないと発表、中国人民銀行が市場に資金供給をするなどしたことで、楽観論が広がりリスク回避の動きは一先ず収まりをみせた。その後も感染拡大に関して不安と楽観が交錯した動きとなっていたが、市場が楽観論に重きを置いたことや日本の第4四半期GDPが-6.3%だったことで円売りが強まり、112円台前半まで円安が進んだ。しかし、感染拡大が欧米や中東など世界的な広がりを見せたことをきっかけに欧米株が急落。世界同時株安の引き金となり、金融市場はリスク回避の動きが加速。ドル円は107円台半ばまで円高が進むなど大荒れの月末となった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: 新型コロナウイルスに関して先月もリスク要因としていたが、感染拡大にマーケットが混乱している。この状況に歯止めをかけるため、G7財務相・中央銀行総裁の緊急電話会議が行われたり、FRBが緊急利下げに踏み切るなどしているが、世界経済への影響を考えるとリスク回避の動きに歯止めをかけられていない。今後も新型コロナウイルス問題がマーケットの中心となりそうだが、米中貿易問題や英国EU離脱後に行われているEUとの貿易協議なども控えており、急変動には注意しながら対処したいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
3 / 24 (火)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
3 / 26 (木)	21 : 00	GB	英中銀金利発表	☆☆☆☆
3 / 27 (金)	21 : 30	US	個人消費支出	☆☆☆☆
3 / 31 (火)	17 : 30	GB	英GDP改定値	☆☆☆☆
4 / 3 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
4 / 10 (金)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
4 / 15 (水)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。